

# 平成26年度事業報告書

## < 一般会計 >

### 第1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業）

#### 1. 乗用馬等の生産育成振興事業

##### (1) 乗用馬等の生産育成指導事業

- ア. 北海道地区及び岩手県遠野地区の乗用馬生産農家の組織強化と乗用馬生産基盤を強化するための検討会（釧路市10月28日、遠野市11月5日）を開催した。
- イ. 乗用馬の資質向上を図るため、遠野で生産された乗用種雌馬「ミナミシャネルIV」号を買い上げるとともに、JRAから贈与を受けた「ヴィッテル」号を岩手県遠野市に繁殖用として貸し付けた。

##### (2) 日本在来馬の保存活用推進事業

日本在来馬の保存活用に係る各馬種団体の保存活動の円滑な運営と活性化を図るため、連絡会議等（北海道和種：4月21日）へ出席するとともに、トカラ馬については3月16日～17日に現地調査を行った。

##### (3) 日本在来馬の保存登録

在来馬の保存のため、北海道和種（血統登録：124頭、繁殖登録：43頭）、木曾馬（血統登録：4頭、繁殖登録：5頭）、野間馬（血統登録：3頭、繁殖登録4頭）、対州馬（血統登録：8頭、繁殖登録：7頭）について登録を行った。

#### 2. 農用馬等の生産振興対策事業

##### (1) 農用種雄馬の整備事業

農用馬の資質の向上と増産を推進するため、家畜改良センター有種雄馬4頭（ペルシュロン2頭、ブルトン2頭）を借り受け、馬産地に配置（転貸）した。

また、ばんえい競馬で優秀な成績を残した競走馬の中から3頭を購入し、種雄馬として生産地に配置した。

##### ① 家畜改良センター有種雄馬の借受と配置

品種別配置先頭数

（単位：頭）

区分	根室	函館	熊本	計
ペルシュロン	1		1	2
ブルトン		1	1	2
計	1	1	2	4

##### ② 本会有種雄馬の購買と配置

品種別配置先頭数（国内購買）

区分	馬名等	配置先
ばんえい馬	ホッカイヒカル (10歳、日本輓系種)	ホクレン札幌支所
ばんえい馬	レットダイヤ (7歳、日本輓系種)	ホクレン北見支所
ばんえい馬	オオノトップ (10歳、日本輓系種)	釧路農業協同組合連合会

## (2) 種馬登録事業

北海道においては輓系馬、乗系馬及び小格馬、岩手県においては輓系馬及び乗系馬、青森、島根、熊本、宮崎の各県においては輓系馬を主体に登録を行った。また、その他の地域においても乗系馬を主体に随時登録を行った。

### ① 登録事務の推進

種馬登録事務の適正かつ円滑な実施を図るため、本部及び北海道事務所に技術者、事務員を配置して登録事務に当たったほか、関係団体等の協力を得て登録事務を行った。

#### ア. 登録審査委員の委嘱等

登録審査委員については、人事異動等必要に応じ、本会役職員、学識経験者、関係団体の役職員のうちから適任者を委嘱（又は任命）〔新規3名、平成27年3月末現在59名〕した。

#### イ. 登録審査委員研究会の実施

登録審査を厳正に実施するため、5月20日に家畜改良センター十勝牧場で登録審査委員を対象に登録実務者研究会（参加者13名）を開催した。

### ② 登録審査の実施

登録申込みのあった馬については、関係書類及び実馬を審査して登録を行った。  
種馬登録の実施状況(27年3月末現在)

(単位:頭)

区分	輓系馬	乗系馬	小格馬	在来馬	計
血統登録	1,282	197	230	139	1,848
繁殖登録	261	33	78	59	431
個体識別等		19	40		59
計	1,543	249	348	198	2,338

### ③ 登録システムの改修

血統登録の管理システムの保守を行いながら、種馬登録に係るデータベースを作成し、提供した。

## (3) 農用馬生産推進事業

### ① 農用種雄馬の適正配置

#### ア. 種雄馬配置協議会の開催

家畜改良センターから借受けた種雄馬の適正配置を図るため、十勝牧場に配置を希望する団体の参集を得て配置協議会（7月30日）を開催し、種雄馬4頭を配置した。

#### イ. 種雄馬の管理指導

(a) 配置種雄馬の管理を適正に行うため、本会の職員等が配置先を巡回し、管理状況の把握と管理指導を行った。

(b) 交配種雄馬の選定、配置転換及び登録審査等の参考に資するため、本会有配置馬、家畜改良センター有馬及び民間有の種雄馬等（種畜検査合格馬）を網羅した種雄馬名簿を作成し、関係者に配布した。

### ② 農用馬の生産振興

#### ア. 農用馬の生産技術の指導

農用馬の生産を促進するため、技術者及び飼養者を対象とした技術講習会等

を開催するため、7団体に指導奨励金を交付した。

#### イ. 診療技術研修会の開催

馬の診療技術者の養成及び生産技術の向上を図るため、1月27日～30日にJRA日高育成牧場で診療技術研修会（5名参加）を開催した。また、削蹄技術の向上及び護蹄管理の面から12月11日に都城家畜市場で削蹄技術研修会（15名参加）を開催した。

#### ③ 優良農用馬資源確保のための緊急特別対策

ばんえい競馬の競走馬資源を確保するため、ばんえい競馬主催者である帯広市に対し、(i)2歳馬競走の優勝馬の生産者賞の交付する事業に対して帯広市に助成した。(ii)ばんえい競馬の生産指標となる基幹2競走(イレネー記念、黒ユリ賞)の出走馬の生産者に対し、生産者賞を交付した。

### 3. 家畜改良体制運営事業

家畜改良事業団が行う家畜改良データバンクに種馬登録データを随時入力するとともに、登録データの活用を推進するため、馬関係団体の登録馬と登録データをホームページ上で一致させためのデータベースを公開している。

### 4. 褒賞の実施

農用馬等の生産振興を図るため、道県で開催された馬の共進会及び4年に1度開催される全道総合畜産共進会(馬部門9月6～7日)において会長賞、副賞等の交付を行った(岩手県畜産共進会(9/12)、釧路種馬共進会(7/28)、十勝総合畜産共進会(7/24～25)、ばんえい競馬重賞競走(9/21)ほか)。

また、根室種馬共進会(6/11)、北海道乗用馬市場(10/28)、どさんこフォーラム(11/8～9日)等において、後援を行うとともに「やぶさめ競技遠野大会」に協賛を行った。

## 第2 広報事業(公益目的事業及び管理部門)

馬事関連情報、規程及び乗用馬市場開催の出場馬名簿等をホームページに掲載したほか、会員向けの「馬事協会だより」を5月と10月の2回発行した。

## 第3 その他

### 1. 会員の状況(平成27年3月31日現在)

団体会員 73団体

個人会員 30名

### 2. 会議等の開催

当協会の事業運営について審議・協議するため、総会、理事会を開催した。

#### (1) 総会

① 定時総会 6月16日 馬事畜産会館2階会議室

報告第1号 平成25年度事業報告について

議案第1号 平成25年度収支計算書(資金ベース)、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書の承認に関する件

- 報告第 2 号 平成 25 年度監査報告について
- 議案第 2 号 定款第 7 条の経費の負担に関する件
- 議案第 3 号 理事及び監事の報酬等の総額に関する件
- 議案第 4 号 役員を選任に関する件
- 議案第 5 号 公益社団法人日本馬事協会定款の変更に関する件
- 報告第 3 号 平成 26 年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について
- 報告第 4 号 新たな会員の入会に関する件

## (2) 理事会

- ① 第 1 回理事会 5 月 27 日 馬事畜産会館 2 階会議室
  - 議案第 1 号 平成 25 年度事業報告の承認に関する件
  - 議案第 2 号 平成 25 年度収支計算書（資金ベース）、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書の承認に関する件
  - 報告事項 平成 25 年度監査報告について
  - 議案第 3 号 総会に附議すべき事項の決定に関する件
  - 議案第 4 号 総会に附議すべき事項の内容の承認に関する件
  - 議案第 5 号 役員を選任に関する件
  - 議案第 6 号 新たな会員の入会に関する件
  - 議案第 7 号 定款第 7 条の経費の負担に関する件
- ② 第 2 回理事会 6 月 16 日 馬事畜産会館 2 階会議室
  - 議案第 1 号 役員を選任に関する件
  - 報告第 1 号 会長及び専務理事の職務の執行状況の報告について
- ③ 第 3 回理事会 6 月 16 日 馬事畜産会館 2 階会議室
  - 議案第 1 号 会長、副会長及び専務理事の選任に関する件
  - 議案第 2 号 定款第 7 条の経費の負担（団体会員の会費）に関する件
- ④ 第 4 回理事会 8 月 29 日 （書面による理事会の開催）
  - 議案 新たな会員の入会に関する件
- ⑤ 第 5 回理事会 3 月 9 日 馬事畜産会館 2 階会議室
  - 第 1 号議案 平成 27 年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件
  - 第 2 号議案 総会の招集及び総会に附議すべき事項の決定に関する件
  - 第 3 号議案 総会に附議すべき事項の内容の承認に関する件
  - 議案第 1 号 定款第 7 条の経費の負担（会費）に関する件
  - 議案第 2 号 理事及び監事の報酬等の総額に関する件

第4号議案 常勤役員の本俸に関する件

第5号議案 職員給与規程の変更に関する件

第6号議案 新たな入会希望者(賛助会員)の入会に関する件

報告事項 会長及び専務理事の職務の執行状況の報告について

(3) 監事監査 5月14日 日本馬事協会会議室

(4) 監査の受検

① 地方競馬全国協会による畜産振興補助事業に関する監査

11月13～14日 日本馬事協会会議室

② 内閣府による法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査

1月23日 日本馬事協会会議室

#### 4. 役職員の異動

(1) 役員

・平成26年6月17日

理事退任 小川 諄

理事退任 小瀬 泰

理事就任 伊藤 克己

理事就任 柿林 孝志

・平成27年3月10日

監事退任 石田 生男

(2) 職員等

・平成26年4月1日

新任 北海道事務所長 中城 一

・平成27年3月31日

総務部部長を解く 高橋 文昭(地方競馬全国協会からの派遣を解く)

## ＜ 特 別 会 計 ＞

### 第 1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業）

#### 1. 馬事普及啓蒙推進事業

馬事知識の普及、馬の利用促進及び農用馬の生産振興を図るため、次の事業を行った。

##### (1) 馬事普及啓蒙対策事業

ホームページを改修するとともに、農用馬等に関する情報を提供した。

##### (2) 馬事普及のための特別対策事業

馬事知識の普及を図るため、次の事業について開催経費を助成した。

①「特定非営利活動法人とかち馬文化を支える会」が帯広競馬場で開催した「写真展」

②「釧路馬事振興連合会青年部会」が行ったばんえい競馬の PR

③「根室馬事振興協議会」が行ったばんえい競馬ファンサービスとしての馬車体験等

④「上川馬事振興会青年部」が行った馬車体験、馬糞体験及び乗馬体験

⑤「北海道輓用馬振興対策協議会」が行った「全道祭典ばんば 1 才馬決勝大会」

##### (3) 馬事思想普及用機材の貸付事業

馬事思想の普及を図るため、コンピュータビジネス（帯広競馬場）及び J R A 競走馬総合研究所が開催日や祭事の来場者に配布するブックレットを提供した。

また、その他 3 団体にブックレットを提供した。

##### (4) 優良農用馬の生産振興対策事業

農用馬の生産振興のために、次の活動費について助成した。

① 重輓馬における分娩後から初回発情までの血液成分動態、子宮・卵巣の状態及び子宮頸管内の細菌汚染度を調査し、初回発情受胎率との関連を明らかにするため、帯広畜産大学と共同研究を実施した「十勝農業協同組合連合会」

② 馬の飼養管理、繁殖管理等の習得を目的とした研修会を実施した「釧路農業協同組合連合会」

③ 今後の生産振興に繋げるための十勝牧場の視察及び意見交換会並びに馬の特徴や飼養管理方法についての研修会を実施した「根室馬事振興協議会青年部会」

④ 相馬研究会、優良多産馬の共通骨格を研究する研修会を実施した「上川馬事振興会青年部」

⑤ 馬の飼養管理、農用馬資源優良活用事例について研修会を実施した「チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部青年部」

##### (5) 農用馬生産者が馬事知識普及啓蒙を行う事業

全道規模の馬の共進会を実施した「第 16 回北海道総合畜産共進会実行委員会」へ開催経費を助成した。

##### (6) 優良農用馬生産者の表彰事業

農用馬の生産意欲を増進するため、ばんえい競馬の生産の指標となる基幹 2 競走である「黒ユリ賞競走」と「イレネー記念競走」に出走した馬の生産者表彰式を 3 月 22 日に帯広市で開催した。

#### (7) 農用馬生産振興推進事業

地域の実態に即した農用馬の生産振興策を検討するためのブロック会議を、東日本ブロックは盛岡市(2月17日)、西日本ブロックは熊本市(2月4日)、北海道ブロックは帯広市(3月23日)において、それぞれ開催した。

### 2. 在来馬種保存事業

在来馬種保存のため、次の事業を行った。

#### (1) 在来馬種の保存・利活用

在来馬の保存、利活用に必要な飼育管理費、保存活用研究費、施設等整備費等を全国8馬種の保存会へ助成した。

#### (2) 絶滅が危惧される在来馬に対する対策

絶滅が危惧される3馬種(野間馬、対州馬、宮古馬)については、馬種ごとに必要な施策(保護及び繁殖技術指導)を行うとともに、宮古馬(2月22日～25日)及び野間馬(3月3日～5日)について現地指導調査をそれぞれ行った。

### 3. 馬能力検定方法確立推進事業(平成25～27年度)

#### (1) 事業推進委員会の開催

学識経験者等からなる推進委員会(5月30日)を開催し、事業の効率的な推進等について検討を行った。また、10月10日に農用馬及び乗用馬の合同専門委員会を、農用馬専門委員会を2月18日、乗用馬専門委員会を2月9日にそれぞれ開催し、馬の能力評価法及び外貌審査基準(案)等について専門委員による意見交換等を行った。

#### (2) 馬能力検定方法確立事業

海外で実施されている馬能力検定手法を国内の検定手法に取り入れるため、スエーデンにおける乗用馬の検定員を招聘し、12月に遠野市で研修会(15名参加)を開催するとともに馬事公苑において専門委員会を開催し、専門委員と海外の検定員との意見交換を行った。

### 4. アニマルウェルフェア飼養管理評価法確立事業(平成26～28年度)

#### (1) 事業推進委員会の開催

学識経験者等からなる推進委員及び専門委員の合同推進会議(7月2日)を開催し、事業の効率的な推進等について検討を行った。

#### (2) アニマルウェルフェア飼養管理技術調査研究事業

アニマルウェルフェアレベルの評価指針等を作成する必要があるため、専門委員会(10月9日)を開催し、26年度において実施する「国内外の文献の収集・翻訳及び27年度に委託調査する調査内容等について」専門委員による意見交換を行った。